



日本遺産進捗状況

◎ 日本遺産運営協議会 (1月22日)

今年度の実施事業について各担当から説明がありました。引き続き令和2年度の有松側からの事業が提案され、検討の上名古屋市が持ち帰りました。提案内容は以下の通りです。

1. 後継者育成事業制作作品の町並み展示
2. 有松の歴史調査研究 (2年目)
3. 日本遺産認定を契機とした日本文化体験観光の推進
4. 有松日本遺産まちづくりの推進・ワークショップの開催 (2年目) ・シンポジウムの開催
5. 有松天満社に関連したイベント・ワークショップなどの開催
6. 日本遺産記念事業「有松茶会」の開催
7. Arimatsu Blue 日本遺産にあいにくて プロジェクト
8. 鯉活プロジェクト (みんなでつくろう絞り鯉のぼり、町並み展示)

◎ 日本遺産ワークショップ DAY1 (1月26日)

「日本遺産のまち有松の30年後を考えよう」をテーマに、愛知学院大学の村田尚生先生を案内役にワークショップが行われました。1回目の今回は、有松あないびとの会の案内で有松のまちを歩き、未来に残したい「お宝」を見つけることです。30数名の参加者は絞り・祭・町並みの3グループに分かれて約1時間素敵な所を探し、雰囲気を感じ、興味をひかれたものの写真を撮りました。それぞれが見つけた有松の魅力を共有するため、インスタにコメントを付け投稿することになっています。

散策後、村田先生は「30年後」を具体的に考えるためには、「今いる子ども達が有松に住み続け、暮らしを営むことについて考えること」と、話されました。次回は2月22日(土)、皆で有松を語り合しましょう。是非ご参加ください。



村田尚生氏 竹田邸書院



参加者集合写真

有松観光案内所

1月18日(土)から館内の展示替えを行いました。有松についての情報発信を強めるため、各種チラシを置くスペースを大幅に拡大しました。開館日・時間は従来通り。担当者も常駐しています。「気軽に立ち寄ってくださいね」と、仰っていました。



有松天満社

文嶺講総会(1月12日)

- 新総代長・副総代長決まる(1月12日)

新総代長 竹田宗弘氏(第41代)

新副総代長 鈴木章二氏・西村明敏氏・鋤柄哲夫氏

- 新総代長の抱負(竹田宗弘氏談)

諸先輩が築き上げてきた文嶺講を更に活性化していきたい。周辺地域の人口増加もあって、参拝者が増えてきている。天満社には、春祭り・秋祭り・元旦祭を始め様々な神事がある。伝統を守りながら、地域の皆さんに楽しんでいただけるようにしたい。これからも厄年会始め多くの人に支えていただきたい。そのためにも、子どもの頃から親しみ「神社はいいものだ」と感じていただけるような取り組みを行ってきたい。

具体的には、有松天満社で挙式できることを周知し神前結婚式を広めていきたい。また、3月22日には上の広場でマルシェ(アリマツマーケット)を再び開き、地域以外の方とも連携して「開かれた天満社を作っていきたい」と力強く語って下さいました。

元旦祭(1月1日)

大晦日から三箇日にかけて、約1万人の方が天満社を訪れて下さいました。

大晦日の23時30分頃、本殿前の石段には人の列ができ若い人も多く並んでいました。上の広場ではたき火が焚かれ、暖を取っている人もいっぱいです。0時前にカウントダウンが始まり、そしてあちこちで「Happy New Year」の声。厄年会の振舞い酒をいただき、参拝者は帰路につきました。

元日の朝、天候にも恵まれ次々と参拝者が訪れていました。本殿に至るには鳥居を潜って長い石段を登ります。「子供の時、いつになったら上に着けるのかと思った」と、娘さんに話すお母さん。50段ほどで上の広場に。テントではおみくじなど用意され、反対側ではたき火が焚かれていました。更に30数段の急な石段を登ると本殿。手を合わせる人、献牛を筆でなでる人など穏やかな光景でした。

左義長(1月14日)

毎年1月14日、上の広場で左義長の行事が行われます。参拝者が持ち寄ったお札などを燃やすのですが、今年は燃やす量が大変多く、用意した11個の袋がいずれも山盛りになっていたとのことでした。

《ひとくち知識 左義長って何?》

古札などをお祓いをしてから燃やす行事です。神聖な火とされ、神様に返す意味もあるとのこと。古札のほか正月飾りや書き初めなども持ち寄って燃やす。その灰で餅を焼いて食べたり、灰を体にまぶしたりすると健康になると言われている。灰を持ち帰り自宅の周囲にまくと厄除けになるとも言われている。書き初めを焼くと字が上達するとも・・・左義長は地域によってどんど焼きなどいろいろな呼び方がある。(前総代長 山上正晃氏にお伺いしました。)



竹田宗弘氏



石段を登る参拝者



本殿前



上の広場

デイサービス松柏苑で紙芝居(12月26日)

利用者さんの活動の一つとして、有松あないびとの会で制作した紙芝居の上演会が行われました。「お灸と指輪」は戦時中の棚橋医院にまつわる話。かつて実際に医院に通っていた方が参加していて、遠い昔を懐かしんでいるようでした。語り手のお一人、伊東葉子さんは「今日で3回目。少しかんでしまいましたが、心にしみる話と味わい深い絵をお届けできました」と語って下さいました。

成人式(1月13日)

郷土愛を育むと共に、新成人として社会の一員となったことをお祝いするため、有松中学校で開催されました。256名の新成人が出席し、代表者による心の灯・花束贈呈・誓いの言葉が述べられました。式典の後、有松中学校の吹奏学部による祝賀演奏が行われ、新成人達は静かに聞き入っていました。

有松中学校地域学習(1月14日)

今年も有松中学校1年生の地域学習が行われました。1年生350名が12講座に分かれて、「祭」「町並み保存」「桶狭間の合戦」「大高緑地の自然」などをテーマに学びました。地元の先達を講師に約3時間現地体験をしました。地域学習を通して、生徒さんが地域に誇りを持ち、伝統を継承する人として成長して下さいることを願っています。

有松あないびとの会総会(1月21日)

第18回総会が「おしょくじ處 今」にて、会員34名の参加で行われました。最初に鈴木義光会長より①岡家住宅の見学者が6月の公開以来1万人を越えた②多くの外国からの来訪者に対し国際部を中心に適切に対応できた③昨年2件の救急搬送があり事案発生後のより速やかな対応が必要とのお話がありました。その後、事業報告や新年度の事業計画が提案されました。後、新年懇親会が和気あいあいのうちに行われ、有松に一層関心を持ってもらえるよう頑張ろうと語りました。

地域活動 民生児童委員

有松学区には、地域から推薦を受け厚生労働大臣から委嘱を受けた17名の民生・児童委員と主任児童委員がいます(会長 横井清明)。主に高齢者の見守り訪問や赤ちゃん訪問を行っています。子育て広場を開催するなど区役所・保健センター・社会福祉協議会・いきいき支援センター・学校などと連携して活動しています。月に1回定例会を開き、地域の皆さんが心身ともに健康で安心して暮らすことができるよう話し合いをしています。

「有松の特色を活かしながら、活動を通じて温かいまちづくりの一助になりたい」と、お話し下さいました。(横井清明氏談)



大高緑地での学習風景



鈴木義光会長 (左)



民生児童委員の皆さん

ガイドの現場から「ボランティアガイド歴4年目を迎えて」

有松あないびとの会 北川洋三

「現役時代は家と職場を往復するだけで、自分が住んでいる町に興味はなかった。勉強すると区内には史跡や文化財がいっぱいあることが分かり、新鮮な驚きだった。」この新聞記事と出会ったのが、有松あないびとの会に入って1年ほど過ぎた秋だったと思います。そして今年、有松の町並みのボランティアガイドをはじめて4年目を迎えます。この記事の話はまさに自分のことのように感じております。

今の私は、幸いにも重要伝統的建造物群保存地区に選定され、日本遺産にも認定された有松をとて身近に感じることができる環境にいます。「今日のこの町並み案内は自分にとっては何回かの1回だが、聴いてくださる方々にとってはたった一度のことになるかもしれない。それを忘れないように。」という先輩の言葉を胸に、毎回「これまでで一番のご案内」ができるようにこれからも努力していきたいと思ひます。

有松発見 オアシス21で絞り染め体験

ここ数年、各地で有松の宝（絞り・山車・町並み）に触れる機会が増えてきました。1月14日、オアシス21iセンターでの有松・鳴海絞り体験イベントに出かけました。参加者の中に外国からの旅行者もあり「楽しかった。簡単にできるのいいわね」と感想を仰っていました。布を帯状に折った後、三角形に折り重ね、塊の周りを染めて模様を付ける板締め絞りです。

このイベントを主催されている名古屋観光コンベンションビューローの大嶽知代さんにお話を伺いました。「昨年8月から原則毎月第二月曜(祝日は翌日)に開催しています。ここでの体験をきっかけに有松や鳴海へ足を運んでいただくと幸いです。冬場の参加者は少ないですが、夏場は一日90人程が参加されました。」

(有)こんせいさんのご指導で行っているとのこと。伝統工芸の有松・鳴海絞りを広く知っていただくとてもよい機会でした。



催事・行事の予定

- 2月02日(日) 09:00 有松東海道青空市 商工会周り 青空市運営委員会
- 2月09日(日) 09:00 有松一里塚 清掃 有松まちづくりの会
- 2月17日(月) 13:00 おこしもんづくり カフェ&バル庄九郎 NPO法人CAN
- 2月22日~3月22日 ありまつ福よせ雛さんぼ道 有松東海道一帯・絞会館 同実行委員会
- 2月22日(土) 13:30 有松日本遺産 第2回ワークショップ 祇園寺 同実行委員会
- 2月23日(日) 有松天満社 御朱印特別頒布 中町年行司 文嶺講
- 2月23日(日) 13:00 福よせ雛 白玉ぜんざいふるまい 中町山車庫前 同実行委員会
- 2月24日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索